

2026年度 第2回 御所見・中里地区 学校運営協議会会議録

開催日時 2026年7月2日（木） 10時00分～
場 所 藤沢市立中里小学校 図書館

【学校運営協議会委員（御所見・中里地区コミュニティ・スクール）】

1	副会長	山田 芳夫	御所見小学校 校長
2	副会長	秦野 知己	中里小学校 校長
3	副会長	山田 大	御所見中学校 校長
4		高久 憲一	御所見地区ふれあい共育ネットワーク 会長
5	会長	鈴野 達也	御所見地区青少年育成協力会 会表
6		佐々木 冬子	中里小コミスクおはようボランティア 代表
7		遠藤 陽輔	御所見地区青少年育成協力会 副会長
8		渡真利 康子	御所見地区民生委員児童委員協議会 副会長
9		須藤 和久	御所見市民センター センター長
10		中野 伸哉	藤沢市社会福祉協議会 CSW
11		岩木 裕之	御所見小学校 PTA 総務
12		竹林 夏帆	中里小学校 PTA 会長
13		山中 恵美子（欠席）	御所見中学校 PTA 本部役員
14		長谷川 照子	中里こどもの家 運営委員長
15		西田 良（欠席）	ごしょみ児童クラブ クラブ長
16		市成 希美子（欠席）	なかさと児童クラブ クラブ長
17		佐藤 峻平	慶応義塾大学環境情報学部 政策・メディア研究科 後期博士課程
18		鈴木 理恵	元御所見中学校評議員
19		片岡 優（欠席）	Ana Letter 代表

小雀智洋（少年の森職員） 山岡薫奈（慶応大学和田研究会）2名

1. 開 会（会長あいさつ）

2. 議 題

（1）「Feel度Walk」研究実践の紹介

- ・少年の森や地域散策での発見を絵にする活動や、防災鍋での御所見汁作り・釜炊きご飯といった五感で楽しむ多世代交流ワークショップを目指しており、次回7月12日には竹そうめんを予定している。
- ・御所見の歴史や地元の牧場・農家、マルシェ等と連動させると、より魅力が広がる。
- ・地域のスタンプラリーやPTAのイベント（中里小のもちつき等）、御所見フェスタ等とコラボレーションしていくと面白いのではないかな。
- ・中学生の非認知能力を高める体験型学習の場としても連携を広げていきたい。
- ・1家族500円という参加費設定では運営費用が不足しており金銭面の協議が未だ不十分なため、地域活性化の観点から自治会によるサポートも検討していけたらよい。

(2) 学校からの近況報告

(中里小学校)

- ・個々の課題を抱える児童や家庭に寄り添い、元気に 2 学期を迎えられるよう学期末の指導に注力。夏休み中の地域での見守りと、学校への情報共有を依頼。
- ・ずっと 1 クラスだった 6 年生が、体育大会で御所見小と交流し「中学で初めてのクラス替えを経験するんだ」と前向きに話しており、卒業までの時間を大切に過ごしたい。

(御所見小学校)

- ・見守りボランティアの協力のもと中里小のプールを借用し授業を実施。学校間の良い連携事例となった。
- ・5 年生が慶応大の田んぼ体験に参加。来年は中里小もやりたい。
- ・PTA 運営委員会で加入率低下が話題に。中里小の「もちつき大会」のようなイベントを今後検討したい。

(御所見中学校)

- ・AI や ICT スキルも必要だが、学校だけで発信した通り、失敗や挫折、感動や共感といった「非認知能力（五感の体験）」を育む場としての学校の役割を重視する。
- ・修学旅行で訪れた能楽堂での体験が良かった。体調不良者もなく時間も守れたが、スマホ持込禁止ルールが徹底しきれなかった課題があり、次年度は「ルールを決めて持参させる」方向性も検討する。
- ・6 月 25 日に部活動の地域展開に向けて、第 1 回準備委員会を開催した。

(3) 学校からの提案・依頼・協議・報告事項

①御所見中からコミスクへの提案事項

- ・通学路（北側歩道）の安全確保
中学校北側の歩道が狭く危険なため、コミスクが主導して行政等へ環境改善を働きかけていきたい。
- ・部活動の地域移行と多忙化解消
地域移行を進めるにあたり、学校と地域双方が Win-Win となる連携を目指す。また、多忙な教職員の負担を減らすため、地域が主体となった学校サポート体制を構築したい。
- ・創立 80 周年行事の運営
学校側がすべてを企画・運営するのではなく、イベント会社等の協力を得て進める方法も検討していく。
- ・学校外の居場所・学習場所づくり
不登校や教室に居づらい生徒の午後の居場所として、いずれ市民センターの施設を利用できるよう、見守りボランティアの募集を含め今後検討していきたい。
- ・学校施設管理員についての共有

②「三校合同引き取り訓練アンケート結果」の報告

- ・御所見小（校庭）と中里小・御所見中（教室）で引き渡し場所が異なったため、どちらが良いのか、来年度に向けて検討していく必要がある。
- ・幼稚園・保育園・寒川町・児童クラブ等との連携・同日開催も今後の課題とする。
- ・車や自転車での来校による混雑や市民センター駐車場の満車問題が発生。本番は車が使えないこと、実際に歩くと 1 時間かかる現実を保護者に実感してもらう取り組みが必要である。仕事をわざわざ休むのではなく「職場から本当に来てもらう訓練」のあり方も検討する。
- ・同じマンションや近所の信頼できる友人を「代理人」に事前登録しておいてもらいたい。

③御所見・中里サポート隊について

- ・プール学習（移動の同行・プール内サポート）の募集に対し、学校の枠に関係なく地域から迅速に協力が得られた。
- ・夏休み学習会に協力してくれる慶応大生3名への謝礼（1,000円×3名×3日間＝27,000円）の支出を提案し、了承された。各校に42,000円配当されている予算について、年度初めに有効な使い道を提示していくことが今後の課題。
- ・2学期にミシンボランティアの募集を予定している。
- ・地域レクリエーション（社体協）へのPTA巻き込み。中里小地区でも地域レクリエーションを復活させたい。

（4）関係団体からの提案・依頼・協議・報告事項

- ・市民センター敷地内にエアガンの弾が大量に落ちている。学校からも注意喚起をお願いしたい。また、青少年指導員とも情報を共有する。
- ・10月24日&25日 「御所見フェスタ」を開催予定。

3. その他

（1）学校単位での委員との確認事項

（2）御所見地区ふれあい共有ネットワークより

6月22日のあいさつ運動活動時、児童生徒が左右を確認せずに横断歩道を渡る姿が目立った。「信号やLEDがついている＝安全」ではないため、各学校での適切な交通安全指導をお願いしたい。

（3）地域学校協働本部について

当面の間は「御所見・中里地区コミュニティ・スクール」の枠組みのままで活動を推進する。

（4）その他

今後は学校経営方針に基づく評価を予定。事前に評価項目を共有した上で、授業参観等の機会を通じて評価してもらう流れを検討していく。

4. 閉会のことば 副会長 山田芳夫校長 代理 緒方世里子教頭より

●今年度のコミスク会議日程（予定）

開催回	開催日時	会場
第3回	2026年10月20日（火）10:00～	御所見小学校 3階 ランチルーム
第4回	2026年12月3日（木）10:00～	御所見市民センター 2階 談話室
第5回	2026年2月25日（木）10:00～	御所見中学校 3階 図書館